



## 研究主題

外国語を通して、すすんでコミュニケーションを図ろうとする児童の育成

## 目指す児童像（高学年ブロック）

外国語を使って、自分のことをすすんで表現し、相手のことを理解しようとする児童

第1回 研究授業報告 4月23日（金） 第6学年 外国語科 This is me!

授業者：河本 美保 ALT：黒川 晃文  
講師：玉川大学大学院 教育学研究科（教職専攻）  
名誉教授・特任教授 佐藤 久美子先生

### 【本時のねらい】

様々な表現を使って、自分のプロフィールについて伝え合う。

### 【授業のポイント】

教科書では、「自分のプロフィールを伝え合う」ことがめあてとなっていますが、今年度クラス替えのなかった学級ということで「プロフィールカードを使って、友達のことを紹介する」活動をゴールとして学習を進めています。本単元でも、既習の表現方法を使って様々なプロフィールを伝え、互いのことについて興味をもって尋ね合おうとする姿が多く見られます。また、プロフィールカードを作成するにあたって、英語を書く活動も重点的に行っています。アルファベットを四線に正しく書きながら多くの単語に触れ、言葉だけでなく、文字でもコミュニケーションを図れることを楽しみながら取り組んでいます。

### 【授業の様子】



### 【児童の様子】

- ・自分のプロフィールを伝える表現方法を、担任とALTのやりとりを見ながら理解しようとしていた。
- ・自分のプロフィールについて、辞書や Picture Dictionary を用いて、より正確に表現しようとしていた。

### 【講師の佐藤先生より】

6年生になると恥ずかしくてしまうことが多いが、元気よく積極的に学習に向かう姿が素晴らしかった。既習事項を用いた表現であったこともあり、自分のことを詳しく伝えたいという思いが感じられた。

ノートに書くときには、1文字ずつ発音しながら（心の中でも）書くことで、文字や音への理解につながる。書く活動も大切であるが、子どもたちは発話したい思いが大きい。1つでも多く、間違えていてもよからアウトプットしていくことで楽しみながら外国語に触れ、身に付けていくことにつながっていく。授業の最後に子どもたちのよかった点についてフィードバックしていた。具体的にどんな取り組み方がよいのかを提示し、実際にそれを見ることができると今後の見通しをもつことができ、外国語の学習の仕方がより明確になる。そのことが主体的な活動につながる。

様々な御指導をいただきました。今回の研究授業を生かして、より一層、授業力向上に努めていきます。

